

令和4年度理事役・支部長等会議開催

1 全般

東京都隊友会は、令和4年12月11日(日)1330から、ホテルグランドヒル市ヶ谷で、令和4年度第2回理事役・支部長等会議を、構成員(理事役、監事役、支部長、顧問、参与)62名中42名の参加を得て適法に成立し、会費等の配分に関する件や事務局に新たな担当者を設置する議案に関し、白熱した議論が展開され、議案は何れも可決された。

その後、各種報告連絡事項に関する説明がなされ、1600には閉会となった。

2 会長挨拶

会議に先立ち会長が挨拶し、今次会議の議題に関する以下の背景的事項の説明があった。

(1) 隊友会の財務問題

- ・ 慢性的赤字の原因は、会費制度の問題
- ・ 財務状況改善のためには、支出の削減と収入の増大が必要

(2) ボランティア組織としての隊友会

- ・ 会員、特に支部長は時間と体力・能力を無償で提供し、金銭の負担をしている場合も
- ・ 都隊友会事務局の職務の分掌と規則制定(特に職務形態と処遇)を議論する必要

(3) 引越見積支援事業

- ・ 本事業は、隊友会本部が行っている収益事業
- ・ 隊友会に対するメリットは、隊員のメリットを前提に収益事業として歓迎するが、収益金額については今後の推移を見守る必要

(4) 結 言

- ・ 第1号議案でA案を提案しているのは、10年前納会員の一般会員への継続問題、収益事業の推移、新聞の段階的値上げの影響等を見ると言う総合的な話とし、その場しのぎの弥縫策(びぼうさく)と言われても、困ったところに対策を打つという考え
- ・ 継続的な検討と財務状況の変化に基づく現実的な改正、適正化の努力の継続が必要

「以下省略」

